

## H28年度 野鳥における発生状況

### 鳥取県で採取された水鳥糞便における高病原性鳥インフルエンザ陽性事例について (H28.11.6 採取) (H28.11.21 高病原性確定)

- ・平成28年11月21日、農林水産省及び環境省からの情報によると、平成28年11月6日に鳥取県鳥取市において採取したオナガガモ糞便から、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N6 亜型)が検出されたとのことです(京都産業大学独自の調査により判明)。
- ・また野鳥監視重点区域において、専門家等から構成された野鳥緊急調査チームが派遣されたとのことです。

### 北海道で回収された死亡野鳥におけるA型鳥インフルエンザウイルス遺伝子が検出された事例について (H28.11.7 回収) (H28.11.21 高病原性否定)

- ・平成28年11月14日、農林水産省及び環境省からの情報によると、同年11月7日に北海道標津郡中標津町で回収された死亡野鳥から、A型鳥インフルエンザウイルスが検出されました。
- ・平成28年11月21日、北海道大学における確定検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルスは検出されませんでした(鳥インフルエンザウイルス H6N2 亜型が検出)。野鳥監視重点区域は、同日に解除されました。

### 鳥取県で採取された水鳥糞便における高病原性鳥インフルエンザ陽性事例について (H28.11.15 採取) (H28.11.21 高病原性確定)

- ・平成28年11月21日、農林水産省及び環境省からの情報によると、平成28年11月15日に鳥取県鳥取市において採取したコガモ糞便から、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N6 亜型)が検出されたとのことです(鳥取大学独自の調査により判明)。また野鳥監視重点区域において、専門家等から構成された野鳥緊急調査チームが派遣されたとのことです。

### 秋田県の飼育下死亡鳥におけるA型鳥インフルエンザウイルス簡易検査陽性事例について (H28.11.15 死亡) (H28.11.21 高病原性確定)

- ・平成28年11月15日、農林水産省及び環境省からの情報によると、平成28年11月15日に秋田県秋田市で死亡した飼育下のコクチョウから、A型鳥インフルエンザウイルスの簡易検査を実施したところ、陽性反応が出ました。
- ・平成28年11月21日、北海道大学における確定検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N6 亜型)が検出されました。また野鳥監視重点地域において、専門家等から構成された野鳥緊急調査チームが派遣されたとのことです。

**秋田県の飼育下死亡鳥におけるA型鳥インフルエンザウイルス簡易検査陽性事例について  
(H28.11.17 死亡) (H28.11.21 高病原性確定)**

・平成28年11月17日、農林水産省及び環境省からの情報によると、平成28年11月17日に秋田県秋田市の動物園において死亡した飼育下(平成28年11月15日に死亡した個体と同一施設で飼養)のククチョウから、A型鳥インフルエンザウイルスの簡易検査を実施したところ、陽性反応が出ました。

・平成28年11月21日、北海道大学における確定検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N6 亜型)が検出されました。野鳥監視重点区域において、専門家等から構成された野鳥緊急監視チームが派遣されたとのことです。

**鹿児島県で採取された水における高病原性鳥インフルエンザ確定検査陽性事例について  
(H28.11.18)**

・平成28年11月18日、農林水産省及び環境省からの情報によると、平成28年11月14日に鹿児島県出水市において採取した環境試料(ねぐらの水)から、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N6 亜型)が検出されたとのことです。

**鹿児島県で回収された死亡野鳥におけるA型鳥インフルエンザウイルス遺伝子陽性事例について  
(H28.11.18 回収) (H28.11.22 高病原性確定)**

・平成28年11月19日、農林水産省及び環境省からの情報によると、平成28年11月18日に鹿児島県出水市で回収されたナベヅル1羽から、A型鳥インフルエンザウイルス遺伝子が検出されました。

・平成28年11月22日、鹿児島県における確定検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N6 亜型)が検出されました。野鳥監視重点区域において、専門家等から構成された野鳥緊急調査チームが派遣されたとのことです。

**鹿児島県で回収された死亡野鳥におけるA型鳥インフルエンザウイルス遺伝子陽性事例について  
(H28.11.19 回収) (H28.11.24 高病原性確定)**

・平成28年11月19日、農林水産省及び環境省からの情報によると、平成28年11月19日に鹿児島県出水市で回収されたナベヅル1羽から、A型鳥インフルエンザウイルス遺伝子が検出されました。

・平成28年11月24日、鹿児島大学における確定検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N6 亜型)が検出されたとのことです。

**鹿児島県で保護された野鳥における高病原性鳥インフルエンザ陽性事例について  
(H28.11.20 保護) (H28.11.24 高病原性確定)**

・平成 28 年 11 月 24 日、農林水産省及び環境省からの情報によると、平成 28 年 11 月 20 日に鹿児島県出水市で保護されたナベヅル 2 羽から、A 型鳥インフルエンザウイルス遺伝子が検出され、鹿児島大学における確定検査の結果、2 羽とも高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N6 亜型) が検出されたとのことです。

**鹿児島県で回収された死亡野鳥における高病原性鳥インフルエンザ陽性事例について  
(H28.11.21 回収) (H28.11.24 高病原性確定)**

・平成 28 年 11 月 24 日、農林水産省及び環境省からの情報によると、平成 28 年 11 月 21 日に鹿児島県出水市で回収されたナベヅル 1 羽から、A 型鳥インフルエンザウイルス遺伝子が検出され、鹿児島大学における確定検査の結果、2 羽とも高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N6 亜型) が検出されたとのことです。

**鳥取県の水鳥糞便における高病原性鳥インフルエンザウイルス確定検査陽性について  
(H28.11.18 採取) (H28.11.28 高病原性確定)**

・平成 28 年 11 月 28 日、農林水産省及び環境省からの情報によると、平成 28 年 11 月 18 日に鳥取県鳥取市で採取したヒドリガモ／ヨシガモの糞便から高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N6 亜型) が検出されたとのことです。本事例は、11 月 21 日に報告のあったコガモ糞便 (No.7) およびオナガガモ糞便 (No.8) と同一の採取場所のため、すでに 11 月 21 日より野鳥監視重点区域に指定されています。また、野鳥緊急調査チームを鳥緊急調査チームは、すでに 11 月 23 日から 25 日現地に派遣されたとのことです。

**宮城県で回収された死亡野鳥における A 型鳥インフルエンザウイルス遺伝子陽性事例について  
(H28.11.21 回収) (H28.11.28 高病原性確定)**

・平成 28 年 11 月 24 日、農林水産省及び環境省からの情報によると、平成 28 年 11 月 21 日に宮城県登米市で回収されたマガン 1 羽から、A 型鳥インフルエンザウイルス遺伝子が検出され、現在、北海道大学において確定検査を実施中とのことです。

・平成 28 年 11 月 29 日、北海道大学における確定検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N6 亜型) が検出されました。また野鳥監視重点地域において引き続き監視を行い、専門家等から構成された野鳥緊急調査チームの派遣を準備中とのことです。

### 鹿児島県で回収された死亡野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス確定検査陽性事例について (H28.11.29)

・平成 28 年 11 月 29 日、農林水産省及び環境省からの情報によると、平成 28 年 11 月 22 日から 24 日にかけて鹿児島県出水市で回収、保護されたオナガガモ 1 羽、マナヅル 1 羽、ナベヅル 4 羽から鹿児島大学の確定検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N6 亜型) が検出されたとのことです。

### 鹿児島県で回収、保護された死亡野鳥及び水鳥糞便における高病原性鳥インフルエンザウイルス確定検査陽性について (H28.11.28)

・平成 28 年 11 月 28 日、農林水産省及び環境省からの情報によると、平成 28 年 11 月 20 日に鹿児島県出水市で採取したカモ類糞便、11 月 21 日に回収されたナベヅル 1 羽、11 月 22 日に保護されたナベヅル 1 羽、11 月 23 日に回収また保護されたナベヅル 1 羽、ヒドリガモ 2 羽から高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N6 亜型) が検出されたとのことです。また、野鳥監視重点地域において、専門家等から構成された野鳥緊急調査チームは、すでに 11 月 21 日から 24 日に派遣されたとのことです。

### 岩手県の死亡野鳥における A 型鳥インフルエンザウイルス簡易検査陽性事例について (H28.11.23 回収) (H28.11.28 高病原性確定)

・平成 28 年 11 月 23 日、農林水産省及び環境省からの情報によると、平成 28 年 11 月 23 日に岩手県盛岡市で回収されたオオハクチョウ 1 羽から、A 型鳥インフルエンザウイルスの遺伝子検査を実施したところ、陽性反応が出ました。現在、北海道大学において確定検査を実施しているとのことです。

・平成 28 年 11 月 28 日、北海道大学における確定検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N6 亜型) が検出されました。また野鳥監視重点地域において引き続き監視を行い、専門家等から構成された野鳥緊急調査チームの派遣を準備中とのことです。

### 鳥取県の死亡野鳥等における A 型鳥インフルエンザウイルス遺伝子検査陽性について (H28.11.20 回収、保護) (H28.11.30 高病原性確定)

・平成 28 年 11 月 25 日、農林水産省及び環境省からの情報によると、11 月 20 日に鳥取県米子市で回収されたコハクチョウ 2 羽 (うち 1 羽は衰弱個体、その後安楽殺処分) から、A 型鳥インフルエンザウイルスが検出され、現在、確定検査を実施中とのことです。

・平成 28 年 11 月 30 日、鳥取大学における確定検査の結果、2 羽より高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N6 亜型) が検出されたとのことです。

**秋田県の飼育下死亡鳥におけるA型鳥インフルエンザウイルス簡易検査陽性事例について  
(H28.11.23 死亡) (H28.11.30 高病原性確定)**

・平成28年11月23日、農林水産省及び環境省からの情報によると、平成28年11月23日に秋田県秋田市の動物園において殺処分された飼育下（平成28年11月15日及び17日に死亡した個体と同一施設で飼養）のシロフクロウ2羽について、A型鳥インフルエンザウイルスの簡易検査を実施したところ、そのうち1羽に陽性反応が出ました。現在、鳥取大学において確定検査を実施しているとのことです。

・平成28年11月30日、鳥取大学における確定検査の結果、2羽から高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6 亜型）が検出されたとのことです。

**北海道で回収された死亡野鳥におけるA型鳥インフルエンザウイルス遺伝子陽性事例について  
(H28.11.24 回収) (H28.12.5 高病原性確定)**

・平成28年11月29日、農林水産省及び環境省からの情報によると、同年11月24日に北海道苫小牧市で回収されたハヤブサ1羽から、A型鳥インフルエンザウイルス遺伝子が検出されました。

・同年12月5日、北海道大学における確定検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6 亜型）であることが判明しました。

**宮城県で回収された死亡野鳥におけるA型鳥インフルエンザウイルス遺伝子陽性事例について  
(H28.11.26 回収) (H28.12.5 高病原性確定)**

・平成28年11月29日、農林水産省及び環境省からの情報によると、同年11月26日に宮城県登米市で回収されたマガン1羽から、A型鳥インフルエンザウイルス遺伝子が検出されました。

・同年12月5日、北海道大学における確定検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6 亜型）と判明したとのことです。

**山口県で採取された野鳥の糞便から低病原性鳥インフルエンザウイルスが検出された事例について (1/5)**

・平成28年1月5日、農林水産省及び環境省からの情報によると、平成27年12月16日に山口県山口市で採取された野鳥の糞便から、H5N3 亜型の低病原性鳥インフルエンザウイルスが分離されたとのことです。

